

2007年度 同志社大学大学院

司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程

入学試験 第2次審査

試験問題

法律科目試験

**（刑事訴訟法）**

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけない。
2. 問題紙の本文は、1頁である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 解答用紙は、3枚1組である。
4. 各解答用紙の右上に受験番号の記入欄がある。組になっている2枚目以降の解答用紙の受験番号欄にも受験番号を正確・明瞭に記入すること。
5. 解答は、ペンまたは鉛筆で記入すること。
6. 試験開始後は、終了まで試験場から退出できない。
7. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示に従わない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させる。
8. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

2007年度 同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験問題 法律科目試験

(刑事訴訟法)

---

【問題】

警察官Pは、暴力団組員同士の乱闘事件における傷害の現行犯人としてXを公道上で逮捕した後、自動車で約5キロメートル離れた甲警察署に連行し、逮捕から約20分後に同警察署において、Xの携帯していたバッグを捜索した(1)。

甲警察署に留置されたXは直ちに、弁護士Aを弁護人として選任することとした。即刻、AはXとの接見を求めて甲警察署を訪れたところ、警察官Qは、ちょうどXを取調べ中であつたので、接見は2時間後にしてくれと言って、Aの強い抗議にもかかわらず、要求を断って取調べを継続した(2)。

(1) Pの行為は適法か。

(2) QがAの即時の接見要求を断り、Xの取調べを続けたのは適法か。